

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター三和担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 7 年 11 月 26 日（水） 9 時 30 分 ～ 11 時 00 分
2 開催場所	東部保健福祉センター 2階 健康教育室・集団指導室
3 参加者	21名
委員 9名（飯田地区5名、白脇地区4名）、関係機関7名、事務局5名	
4 協議の内容	<p>1.開会</p> <p>2.会長・副会長の選出</p> <p>3.会長挨拶 飯田・白脇地区生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>4.委員紹介</p> <p>5.協議紹介</p> <p style="text-align: center;">【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「はままつ友愛の高齢者プラン」とは 浜松市高齢者福祉課よりはままつ友愛の高齢者プランの情報提供をいただいた。 ●「前回協議体からの発見、他市・他地区の取り組み」 社協より飯田地区新貝町と静岡市清水区入江地区について情報提供を行った。 <p style="text-align: center;">【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区における今後の取組について 地区ごとに分かれ、グループで意見交換を行った。 ●飯田地区 前回の会議の中では実際に地域で生活している方の意見を聞く機会があっても良いのではという意見が上っていた。また、民生委員などへの聞き取りで地域に困りごとを抱えて生活している方がいるのではという仮説を立てた状況で、実際に地域住民へアンケートによるニーズの掘り起こしをしてみてもという提案に対し、各委員の同意を得ることができた。 グループワークでは調査の対象や手法について意見交換を行った。 <p>「サロンやシニアクラブに訪問しての聞き取り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブの会員は選択式の簡単なアンケートならできるかもしれないが、細かなことまで回答するのは消極的かもしれない。 ・サロンでロコトレのアンケートをやっている所があるので、そのアンケートと一緒にやってみてはどうか。 ・休止中のサロンもあるがそこはどうか。 <p>「民生委員が訪問しての聞き取り」</p>

- ・民生委員の実態調査の中でアンケートや聞き取りできるかもしれない。
- ➡対象が単身高齢者、高齢者世帯が対象となるため、日中独居の高齢者に聞き取りができない。
- ・聞き取りはできるが本音が出るかわからない。近所の人になら言えること、言いにくいことなど。
- 「自治会に協力を求める」
- ・協力者の発掘についても考えるのであれば、高齢者だけではなく若い世代もアンケートの対象にした方が良いのではないか。
- ・それならば自治会や連合会の協力を求めることになるが、目的や段取りなど丁寧な説明が必要になる。また、アンケート結果を地域にどう反映するのか期待されるのではないか。
- ・回収したアンケートや集計はどうするのか。

●白脇地区

- 「中学生とともに考える会に向けて」
- ・内容、時期等の検討。今年度は開催が難しいので令和8年4月以降に中学生とともに考える会を開催出来るような段取りで進めていく。
 - ・学校側とは地区社協会長に調整を行っていただく。12月8日～12日の間で南部中学校に相談が出来るような日程で調整。
 - ・中学生は家庭科の授業が現在もある。(男女一緒)
 - ・中学生を集めるのは大変。
 - ➡ボランティア証明やポイントがあれば参加してもらえないのではないか。進路や学業に有利との話もあったが今はそれ程でもないかもしれない。社会参加の一環として参加していただきたい。
 - ・学校側が地域行事にある程度合わせて予定を組んでくれる。学校側の協力体制もあるので年間行事にも地域行事を入れてくれている。
 - ・地域との関りが役割としてではなく、防災関係の研修会などの皆が関心を持つような地域行事に参加をしていただく。
 - ・中学生に何を伺うのか。まずは中学生が白脇まつりといった大きな行事以外の活動を知らない可能性があるので地域活動の紹介を行うのかどうか。
 - ・マンネリ化しているので1～2個行っている内容が変わると雰囲気もガラッと変わるので良いのではないか。
- 【地区社協だよりやジージバーバ食堂やシニアクラブや子ども食堂等】
- ・南部中学校は体育祭といった行事でほとんど内容は生徒が考えているものもある。自ら実行をしてもらい、地域を育てていく視点も大事かもしれない。今後どう関わりたいのかを伺い、企画前から中学生に関わっていただくのも良いかもしれない。ただし大人のサポートは必要に感じる。
- その他
- ・白脇のジージバーバ食堂を参考された食堂が鴨江で開催している。その食堂では高齢者だけではなく中学生も参加。遊びコーナーや昔遊びも行っていて、今後の白脇が中学生を巻き込んだ活動の参考になるかもしれない。

6.次回の協議内容について

日時：令和8年2月10日 9時30分から11時00分まで
場所：東部保健福祉センター 2階 健康教育室・集団指導室

7.連絡事項

8.閉会

飯田・白脇地区生活体制づくり協議体 副会長

5 今後の見通し・
必要な対応

「白脇地区」

- ・中学生とともに考える会の開催について
- ・中学生に知って欲しい地域活動(単位自治会ごとに)

「飯田地区」

◎今後の展開

- ・アンケート調査を行う実施主体をどうするか、各団体で協力が得られるのか、アンケートの時期や内容、配布・回収方法などの素案を作成して協議体会議で検討。